

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日	3月 ~4日	3月 ~11日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	11	10	5	13	11	13
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	15	16	6	14	10	11
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	3	2	3	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	3	1	3	6	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	1	3	1	1 (3)	1
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7	4	4
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2	3	4	10	5

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* 前回のその他の2件増は、アエロモナスでした。

* その他の1件は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第10週(3月5日~3月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8					5	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		急性脳炎	1					1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		梅毒	5					3		2
		百日咳	1							1

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第10週 3/5~3/11)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

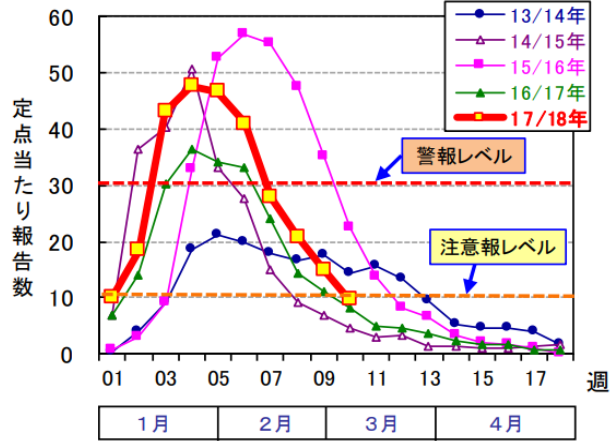
定点当たり9.70人と、6週連続減少し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を下回りました。流行は終息傾向にありますが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第10週に3件報告されています。引き続き、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を心がけましょう。

第10週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が39人、B型陽性が59人報告されています。

2. 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は小児科定点から定点当たり11.7人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎は基幹定点から20人の報告があり、増加傾向です。手洗いやオムツの適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況 (週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	359	9.70	14.78	▲	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.83	
	咽頭結膜熱	2	0.08	0.34			RSウイルス感染症	6	0.25	0.18	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	3.17	2.49	□		急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	281	11.71	8.74	□		流行性角結膜炎	2	0.25	0.33	
	水痘	3	0.13	0.62			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.19			無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	-	-	0.36			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	突発性発しん	7	0.29	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	20	2.86		▲
	眼科										
基幹											

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい □ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	29	女性(10歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(80歳代)・4人
5	急性脳炎	1	4	男性(10歳未満)
5	クローンフェルト・ヤコブ病	1	2	男性(50歳代)
5	梅毒	3	22	女性(20歳代)・2人、男性(30歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.3) 脳炎 脳症 意識障害	3	男	2018/01/18	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱 筋炎	8	男	2018/01/19	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型 B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(39.0) 熱性痙攣	0	男	2018/01/26	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(38.0) 鼻炎	9	男	2018/01/30	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(39.0) 脳症 意識障害 熱性痙攣	1	男	2018/02/01	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(39.0)	3	女	2018/02/04	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
咽頭結膜熱	発熱(38.9) 結膜炎	4	女	2018/01/13	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼瞼腫脹	43	男	2018/01/29	結膜擦過物	単純ヘルペスウイルス1型
その他の疾患	発熱(39.0) 意識障害 熱性痙攣	3	男	2018/01/24	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入のみ掲載